
 ニュース

第4回「有用海藻の分類学に関する国際ワークショップ」報告

有用海藻の分類学に関する国際ワークショップ Workshop on Taxonomy of Economic Seaweeds は Hawaii 大学の I. A. Abbott 教授が Convener として組織し、California Seagrant College Program の後援によって開催されている。太平洋を中心として有用海藻の種レベルでの分類を国際的に安定させ、他の分野で海藻の正しい名前を利用してもらえるようにすることを目的としている。各国の研究者が集まり、それぞれ標本と資料を持ち寄って検討するもので、ひじょうに実質的な討議とそれに基づく報告書ができる。最終的にはそれぞれの分類群の検索表と記載や図を伴って、種類を同定する手引きを作ることを目指している。

第1回のワークショップは1984年6月15-20日に Guam 大学で開催され、ホンダワラ類、テングサ類、キリンサイ類、オゴノリ類が取り扱われた。日本からは北海道大学の山本弘敏氏と私が参加した。

第2回は1986年9月22-25日、中国青島市の中国科学院海洋研究所で行なわれ、ホンダワラ類、テングサ類、オゴノリ類、キリンサイ類、ソゾ類を対象とし、日本からは私一人の参加となった。報告書は少し遅れて印刷された(藻類37巻144ページ参照)。

第3回目は1989年8月7-11日に California, La Jolla の Scripps Institution of Oceanography で実施された。ホンダワラ類、テングサ類、オゴノリ類を対象とし、日本からの参加者は京都大学の鯉坂哲郎氏と私の2人で、ホンダワラのグループに入った。報告書は近く出版される予定で、印刷を急いでいる。

このとき、参加者から次回は札幌でという声が強く、私もそれを承諾せざるをえなかった。北大植物分類学講座に集積された資料を多くの人に利用してもらう機会でもある。そこで会期を1991年7月22-27日として準備に入った。このワークショップは旅費の一部と印刷費を California Seagrant College Program が負担し、開催を引き受けた地元機関が滞在費用などを負担する習慣なので、その点の困難があったが、多くの方々のご協力で実施することができた。

今回はこれまで続けてきたホンダワラ・テングサ・オゴノリのグループにオキツノリ類を加えた4グループとし、それぞれ日本側研究者に参加してもらうことにした。構成はつぎのとおりだった。

ホンダワラグループ

曾呈圭 Tseng, C. K. ・陸保仁 Lu Baoren (中国), 江永綿 Chiang, Y. M. (台湾), Gavino C. Trono (Philippines)

鯉坂哲郎・野呂忠秀・吉田忠生 (日本)

テングサグループ

Bernabe Santelices (Chili), 李海福 Lee, H. B. (韓国)

安田昌彦 (日本)

オゴノリグループ

Isabella I. Abbott (U.S.A.), Khanjanapai Lewmanomont ・Anong Chirapart (Thailand), Phang Siew Moi (Malaysia), 夏邦美 Xia Bangmei (中国), Alan T. Critchley (South Africa)

大野正夫・山本弘敏 (日本)

オキツノリグループ

Richard E. Norris (U.S.A.), 張俊甫 Zhang Junfu (中国)

増田道夫 (日本)

オブザーバー

James J. Sullivan (U.S.A.)

馬場将輔・藤原秀一・岩田一幸・川久保明弘・今野猛彦・松本正喜・中嶋泰・中瀬浩太・二宮早由子・太田雅隆・寺脇利信・山田俊郎・山本正之 (日本)

期間を通じて各自持ち寄った標本と資料に加えて北大理学部標本室の標本も全面的に利用して問題点を検討し、連日活発な意見交換が続いた。特定の地域のみを対象とした個人的な研究では解決が難しい問題点について、共通な見解がえられた。グループ内に限定されず、さまざまな交流を通じて情報の交換も盛んだった。これらの結果は今後相互の密接な関係のもとで分担して纏められ、近い将来 Taxonomy of Economic Seaweeds Vol. 4 として California Seagrant College Program から印刷公表の運びとなる。

このワークショップの実施にあたって、California Seagrant College Program, 北大国際交流事業基金, 海外協力事業団, その他多くの企業と個人のご協力を得た。厚くお礼申し上げる。

(北海道大学理学部 吉田忠生)